

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム すずらん

目標達成計画

作成日：令和5年7月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	利用者の思いや意向をさらに把握できるように工夫を凝らしてみたいはかがでしょうか。	非言語的コミュニケーション含め利用者とのコミュニケーションを図り、家族からの情報や要望も参考に利用者の思いや意向が把握できるようにまたその人らしく楽しく生活できるようにしていきたい	①日々のコミュニケーションの中から思いを汲み取る努力をする②家族との意見交換を今後も継続していく(担当者会等)③外出支援については直接的支援(外出)から関節的支援へ発想転換(多種の駄菓子などを購入し利用者に好きなものを選んで頂く・夏の花火を再開など)手軽にできる支援を行い楽しみを増やしていく	6ヶ月
2	35 (13)	災害対策について今一度見直してみたいはかがでしょうか。	①現在ある避難計画書(マニュアル)の見直し ア・共通対策(建物内外、周辺)の点検 イ・火災・地震・停電・風水浸水各対策についての定期的な訓練の実施・備品の点検を行うウ・人道支援(職員参集等)、避難経路の共通理解と把握を確認していく	①職員全員が計画書(マニュアル)を理解把握見直す(意見交換)②各災害について定期的訓練及び備蓄について点検(実施回数など取り決め記載し計画書に盛り込む(点検表の作成)を取り組んでいきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。